

記入日 2013 年 12 月 26 日

## 1. 概要

|           |  |             |      |
|-----------|--|-------------|------|
| 実践団体名     | 九十九里町立片貝幼稚園                                    |             |      |
| 連絡先       | 0475-76-4066                                   |             |      |
| プランタイトル   | まもろう！ぼくのいのち、わたしのいのち                            |             |      |
| プランの対象者※1 | 1 幼児・保育園児・幼稚園児, 8 教職員・保育士等, 9 保護者・PTA, 10 地域住民 | 対象とする災害種別※2 | 1 地震 |

※1 別紙「記入上の留意点」の1. 項目から選択し、記入してください。(複数選択可)

※2 別紙「記入上の留意点」の2. 項目から1つ選択し、記入してください。

## 【プランの目的・ここがポイント！】

- ・幼稚園児でも「自分の命は自分で守る」「自分で考えて行動出来る」ことを目指す。
- ・小さい子対象なので、恐怖心を与えないように配慮しながら、防災意識を高めていく。
- ・保護者、地域の方、近隣の幼稚園・保育所や未就園の子ども達にも本園の取組みを知らせ、防災減災に関心を持ってもらえるようにする。

## 【プランの概要】

- ・近隣幼稚園・保育所との交流会や合同避難訓練時に、本園職員制作の教材を使い、防災についてわかりやすく指導する
- ・バザーや運動会等で、園の防災教育の取組みについて知らせ、地域の方にも参加していただき、防災・減災について関心をもっていただけるようにする。
- ・園の日常生活の中で指導している、順番に並ぶ・きまりを守る・友だちと協力する等々の事柄は、防災教育にも通じるので、保育者が意識しながら指導し、子どもの防災への意識・関心を深める。防災が習慣となるよう日常化させる。

## 【期待される効果・ここがおすすめ！】

- ・防災教育が日常化されることで、いざという時に自分で考え落ち着いて行動できるようになると思われるし、子どもの変化の様子から保護者の関心も深まってくると思う。

## 2. プランの年間活動記録 (2013 年)

|      | プランの<br>立案と調整                      | 準備活動  | 実践活動  |
|------|------------------------------------|---|---|
| 4 月  | 活動予算計画の具体化<br>年間計画・防災マニュアル<br>の見直し |   | 活動・予算計画について<br>毎週木曜（4～5 月）に年間計画・防災マニュアルについて見直しをする                         |
| 5 月  |                                    |   |   |
| 6 月  | 町内 3 つの保育所との合<br>同避難訓練             | 合同避難訓練場所の施設予約<br>非常食の確認<br>当日の日程打合せ<br>町防災係への依頼 | 地震発生時刻に各園より避難開始（無線のテスト<br>使用）し、避難場所の中央公民館 3F に避難する<br>非常用の水を試飲し、防災の人形劇を行う |
| 7 月  | 職員研修<br>バザー                        | 職員研修の講師依頼<br><br>防災カードゲーム、マイカ<br>ードの作成、非常食準備    | 講師を招いて防災教育の取組みに関する研修<br><br>防災コーナーにて防災カード的当て、マイカ<br>ードの作り方、非常食の実演・試食      |
| 8 月  |                                    |   |   |
| 9 月  |                                    | 防災教育を取り入れた競技に<br>ついて、子ども達との話し合<br>い。職員会議        |   |
| 10 月 | 運動会                                | ↓   | 運動会で防災に関する競技を、年齢に応じて取り<br>入れ、保護者や地域の方に経験してもらったり知<br>ってもらおう                |
| 11 月 | 親子体操<br>「災害に負けない体力づ<br>くり」<br>発表会  | 講師依頼、事前打合せ<br><br>各クラスでの話し合い、練習                 | 防災のストーリーに沿ってゲームや親子で体を<br>動かし体力づくりをする<br><br>防災に関連した年齢ごとの発表                |
| 12 月 | 避難訓練                               | 消防署、町防災係への依頼                                    | 火災を想定した避難訓練<br>消火器を使った訓練  |
| 1 月  | 未就園児ふれあい広場                         | 防災人形劇の練習  |   |
| 2 月  | 年間計画・防災マニュアル<br>本年度活動について反<br>省・検討 | 本年度の反省・検討、来年度<br>に向けての計画について                    |   |
| 3 月  |                                    |   |   |

## 3. 実践したプランの内容と成果

【実践プログラム番号：  1 】※3

|                              |   |
|------------------------------|---|
| タイトル                         | 町内3保育所との合同避難訓練  |
| 実施月日（曜日）                     | 平成25年6月7日（金）  |
| 実施場所                         | 中央公民館   |
| 担当者または講師                     | 担当者・講師等の区分：<br>氏 名：<br>所属・役職等：  |
| 所要時間または<br>「コマ数×単位時間」        | 2時間   |
| プログラムの<br>カテゴリ、形式※4          | 16 避難・防災訓練  |
| 活動目的※5                       | 4 災害を想定した訓練   |
| 達成目標                         | 津波発生時の避難方法を知り、速やかに避難する  |
| 実践方法・進め方<br>（箇条書き<br>またはフロー） | 想定地震発生・津波警報発令<br>・各保育所、幼稚園より避難開始（無線にて町防災係に連絡）<br>・避難場所（中央公民館3F）にて非常用水の試飲<br>・町防災係の方より指導を受ける<br>・防災の人形劇（昨年、本園職員が制作のもの）をみる                                      |
| 準備、使用したもの<br>・人材<br>・道具、材料等  | 防災の人形劇一式、非常用飲料水、ハンドマイク、救急箱、無線   |
| 参加人数                         | 幼稚園児86名、保育所児88名、職員24名   |
| 経費の総額・内訳概要                   |   |
| 成果と課題                        | 【成果】年長児が年少児の手を引いて速やかに避難できた。所要時間も目標より早く避難出来た。防災の人形劇は小さい子にもわかりやすい教材だったと思う。<br>【課題】不安や恐怖心を与えないようにするにはどのようにすべきか。入園間際の避難についてどのように進めるか。避難場所までの避難時間を短縮させるにはどうしたらよいか。 |
| 成果物                          |   |

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の3. 項目から選択し、記入してください。（複数選択可）

※5 別紙「記入上の留意点」の4. 項目から1つ選択し、記入してください。

【実践プログラム番号：  2 】※3

|                              |  |
|------------------------------|--|
| タイトル                         | バザーの防災コーナー   |
| 実施月日（曜日）                     | 平成 25 年 7 月 13 日（土）  |
| 実施場所                         | 本園園庭   |
| 担当者または講師                     | 担当者・講師等の区分：<br>氏 名：<br>所属・役職等：   |
| 所要時間または<br>「コマ数×単位時間」        | 1 時間半  |
| プログラムの<br>カテゴリ、形式※4          | 1 イベント・行事  |
| 活動目的※5                       | 1 遊び・楽しみながらの防災、6 防災に関する知識を深める、8 防災意識を高める   |
| 達成目標                         | 子どもから大人  |
| 実践方法・進め方<br>（箇条書き<br>またはフロー） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災カードの的あてゲーム</li> <li>・非常食の作り方、試食</li> <li>・ロープの結び方</li> <li>・マイカードの作り方</li> </ul>   |
| 準備、使用したもの<br>・人材<br>・道具、材料等  | PTA、非常食（わかめご飯）、的あてボード、防災カード、トラロープ、クリアファイル、マイカード  |
| 参加人数                         | 約 200 名  |
| 経費の総額・内訳概要                   | 16,463 円（非常食 12320 円、マスク 498 円、サランラップ 490 円、クリアファイル 2,205 円、カラーコピー代 950 円）   |
| 成果と課題                        | <p>【成果】近隣地域の方にたくさん来て頂けるバザーで、本園の防災教育への取り組みを知って頂く良い機会だった。非常食への関心が高く、作り方・試食は大勢の方々が参加出来た。保護者主導のロープの結び方コーナーにも関心が集まった。</p> <p>【課題】一過性のことでなく、継続して地域に発信していくことが大事なので、その方法を模索中である。</p> |
| 成果物                          | マイカード  |

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1 つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の3. 項目から選択し、記入してください。（複数選択可）

※5 別紙「記入上の留意点」の4. 項目から1つ選択し、記入してください。

【実践プログラム番号：  3 】※3

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| タイトル                        | 親子体操「災害に負けない体力づくり」  |
| 実施月日（曜日）                    | 平成 25 年 11 月 13 日（水）  |
| 実施場所                        | 片貝小学校体育館  |
| 担当者または講師                    | 担当者・講師等の区分：<br>氏 名：鎌田 修広<br>所属・役職等：(株) タフ・ジャパン 代表取締役  |
| 所要時間または「コマ数×単位時間」           | 約 1 時間  |
| プログラムのカテゴリ、形式※4             | 1 イベント・行事、2 講習会・学習会・ワークショップ   |
| 活動目的※5                      | 9 災害対応能力の育成   |
| 達成目標                        | 災害に負けない健康な心と体を育てるために親子で体力づくりをする   |
| 実践方法・進め方（箇条書きまたはフロー）        | 地震→火災→煙→ケガ人搬送→津波というストーリーの中での対応について<br>メンタル、地震発生時の身の守り方、服に火がついてしまった時の消し方、煙が充満した所での対応、大勢の子どもでレジャーシートを使い大人を運ぶ、グループ毎に避難場所を移動する  |
| 準備、使用したもの<br>・人材<br>・道具、材料等 | PTA、ブルーシート、ビニールテープ、ガムテープ  |
| 参加人数                        | 親子 86 組 職員 7 名  |
| 経費の総額・内訳概要                  | 54,163 円（講師謝金 30,000 円、交通費 16,470 円、昼食 1,380 円、飲み物 353 円、ブルーシート 5,960 円）  |
| 成果と課題                       | 【成果】いざという時の行動について、体を動かしながら親子で楽しく学ぶことが出来た。ブルーシートに大人を乗せ、子ども達が力を合わせて引っ張り、大人を運べるとわかった時の子ども達は、とても満足気で得意顔だった<br>【課題】避難場所を移動するゲームで、状況を把握し判断して、各自が自主的に行動することの大切さを感じた。リーダーの統括・的確な指示の重要性かつ難しさ |
| 成果物                         |   |

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の3. 項目から選択し、記入してください。（複数選択可）

※5 別紙「記入上の留意点」の4. 項目から1つ選択し、記入してください。

## 4. 苦労した点・工夫した点

|   |   |
|---|---|
| <p><b>プランの立案<br/>と調整で<br/>苦労した点<br/>工夫した点</b></p> | <p>・園児にわかりやすい防災教育、園児が興味・関心をもてるようにするにはどうしたらよいか、職員で考え話し合い進めてきました。初めはどうしても保育者主導になってしまい、防災カードのゲームやオリジナルの人形劇を考え行いましたが、子ども達と進めていくうちに子どもからも考えや意見が出るようになりました。運動会で年長児が“水をたくさん運びたい”“火を消したい”という意見をもとに、親子でバケツリレーを行い、火の形のボード中央をくり抜き、紙を貼り、水がかかると中央が空いて消火完了とする競技を考えました。親子で楽しむことが出来ました。防災からちょっと離れてしまうこともありましたが、保育者も話し合いに参加し、援助しながら毎日の保育の中に少しずつ防災に結び付く活動を考え取り入れました。また、保護者や地域の方に防災への関心をもってもらえる様にするには園からどのように発信したらよいか考えました。アドバイザーの先生にも相談させていただくと、無理のないように、続けることが大事だからとご助言をいただきました。出来る事から・・・と考えると肩の力も抜けて、職員間で意見が出るようになりました。</p> |
| <p><b>準備活動で<br/>苦労した点<br/>工夫した点</b></p>           | <p>・制作で思い通りに作れず、時間がかかってしまうことが多かったです。また、講師の先生との日程調整や外部から用品を借用する際の運搬が多少大変でした。進めていくうちに、やはりああしよう、こうしよう、と改善点も出てくるので時間がない中、準備を変更して行うのは大変でした。それでも皆で分担してスムーズに進みました。</p>   |
| <p><b>実践に<br/>当たって<br/>苦労した点<br/>工夫した点</b></p>    | <p>・外での活動では、天候に左右されるので気をもみました。準備で、何度も確認をして万全であったはずなのに、漏れていることやその場で気付いたり変更になることもあって、バタバタしてしまいました。各自の思い込みで進めていたりしたので、職員の共通理解の難しさを感じました。また、誰か一人に負担がかからないように役割分担をして、進み具合を確認しお互い手伝い、声掛けしながら行いました。</p>  |

## 5. 他の団体、地域との連携

| 協力・連携先の分類                   | 団体名、組織名   | 協力・連携の内容  |
|-----------------------------|---|---|
| 学校・教育関係・<br>同窓会組織           | 九十九里町立片貝保育所<br>〃 東保育所<br>〃 作田保育所<br>〃 豊海幼稚園<br>千葉県立東金特別支援学校 | 近隣保育所・幼稚園との<br>合同避難訓練や防災教育<br><br>支援学校の生徒さんの<br>防災実践紹介・教材のプ<br>レゼントや交流会 |
| 保護者・<br>PTAの組織              | 本園保護者・PTA 組織  | バザーや運動会など企<br>画・運営  |
| 地域組織                        |   |   |
| 国・地方公共団体・<br>公共施設           | 九十九里町総務課防災係<br>中央消防署九十九里分署                                  | 園児の避難訓練につい<br>てご指導頂いたり、職員<br>の消火訓練・屋内消火栓<br>の扱い方の実践指導                   |
| 企業・<br>産業関連の組合等             | (株)千歳防災社  | 職員の消火訓練・屋内消<br>火栓の扱い方の実践指<br>導  |
| ボランティア団体・<br>NPO法人・NGO<br>等 |   |   |
| 職業、職能団体・<br>学術組織、学会等        | (財)日本防火協会<br>帝京平成大学   | 園児の防災教育につい<br>て教えて頂いたり、実践<br>の様子を見て頂いてご<br>指導頂きました。                     |

## 6. 成果と課題（実践したプラン全般について）

|                                |  |
|--------------------------------|--|
| <p><b>成果として<br/>得たこと</b></p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園児の防災に関する意識が高まりました。放送で園長の声が聞こえると静かにして話が聞けるようになり、気の早い子は、避難訓練だと思って机の下に隠れる姿がみられます。まだ年少児は担任の指示がないと行動出来ない子もいますが、年長児は自分で考え行動出来るようになってきました。</li> <li>・遊んでいる時、食事の時、プールの時等々、「もし今地震が起きたら…」どのように行動すべきか、いろいろな場面を考えて実践し、反省・問題点について職員会議で話し合いました。まだまだ課題が多く、よい解決策が見当たりませんが、繰り返すことでヒントを得られることもあるので、継続が大切だと思います。</li> <li>・防災に関する活動を各年齢で取り入れ、運動会の競技種目にしたり、発表会で保護者の前で披露しました。制作や劇など友達と協力し、やり遂げたことで子ども達は達成感を味わえ、保護者や地域の方には、子どもたちの活動を通して防災への関心を深めてもらえたと思います。園での取り組みについて保護者の理解も深まり、防災に関心を持つ家庭が増えてきました。</li> </ul> |
| <p><b>全体の反省・<br/>感想・課題</b></p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災が一過性のもので終わることなく、日常生活の中に“当たり前”となるように指導する必要があると思います。手洗いや歯磨きのように習慣化されるよう援助・指導しなければならないと思います。いざという時に自分で判断して行動が出来る様に、年齢に応じた指導の重要性を痛感しています。保育者も日々の保育の中で常に防災を意識しながら指導していくことが大切だと思います。小さなことでも出来る事から一つずつ行っていこうと思います。</li> </ul>   |
| <p><b>今後の<br/>継続予定</b></p>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園児には、引き続き防災訓練や教材を用いて繰り返し指導していきます。発達段階を考慮し、年齢に応じた指導を心掛けます。</li> <li>・保護者や近隣幼稚園・保育所、地域の方に本園の取り組みや防災について発信することで、防災意識を高めてもらい、自主的活動につながるようにしていきたいです。地域の方との協力体制の充実を図りたいと思います。</li> </ul>   |

## 7. 自由記述欄 ※6

※6 自由記述欄は、防災教育の実践で得られた知見、防災教育の普及に関わる提案等を盛り込んでください。また、前頁までの記述に不足した事項、参考資料、写真等を自由にご記入ください。なお、3ページ以内厳守をお願いします。

7月2日(火) 職員研修



千葉県立東金特別支援学校、瀧川先生にアドバイザーをお願いし、職員研修を行いました

7月13日(土) バザー 防災コーナー



防災カードの的当てゲームは、幼稚園児・小さい子向けと小学生以上の大きい子向けの2箇所



消防署勤務の保護者に、ほどけないロープの結び方の講習をしていただきました



非常食(わかめご飯)の作り方実演・試食

(自由記述: 1/3)

11月13日(水) 災害に負けない体力づくり 親子体操



(株) タフジャパンの鎌田修広氏を講師に迎え“災害に負けない健康な心と体を育てるために親子で体力づくり”ということで講習をして頂きました。

地震→火災→煙→ケガ人搬送→津波というストーリーの中での対応について教えて頂きました。



だんご虫ポーズ

**火災** 服に火がついてしまっ  
たらゴロゴロ転がる



煙が充満した所では低い姿勢で

**ケガ人搬送**



子どもでも大勢いれば  
大人を運べます



グループ毎に避難場所を移動します

(自由記述: 2/3)

11月26日(火) 27日(水) 28日(木) 年齢ごとの発表会

3才児 オペレッタ『おかし』



みんなでおかしの家作り



おかしを避難時の合言葉として「おかしも」と引掛けて防災を取り入れ、アレンジしたオペレッタを発表しました

4才児 オペレッタ『3匹のこぶた』



「3匹のこぶた」のオペレッタの中に、だんご虫ポーズ、煙の中では姿勢を低くしてハンカチなどで口をふさぐ、などの行動を織り交ぜてお話を作り発表しました

5才児 オリジナル防災劇と遊戯「ディズニーメドレー」

年長児は自分たちでお話や台詞を考え防災劇を発表しました。パーティーをするための準備の時の話で、パーティー準備でみんなが忙しくしていると地震が起こり、みんなで約束事を確認しながら落ち着いて対応し、無事パーティーが出来るという内容でした。ディズニーのキャラクターになり、遊戯につなげました。

(自由記述: 3/3)